

中・高等学校長 殿  
国語科主任 殿  
会 員 各 位

平成 22 年 4 月 12 日

## 第 26 回漢文教育研修会の御案内

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から漢字・漢文教育に御尽力御理解を賜りありがとうございます。

さて、本学会では中・高等学校の先生方の日々の教育と会員の教養に資するため、過去 25 回の漢文教育研修会を開催し、毎回好評を得てまいりました。

本年も下記のように 2 講座（教養・教育）を開催する運びになりましたので御案内申し上げます。是非この機会に漢字・漢文、ひいては日本と中国の文化全般に渡り、それぞれの専門家とともに集中的に取り組まれてはいかがでしょうか。国語科の先生方はじめ一般の方々の多数の御参加を心からお待ち申し上げます。

全国漢文教育学会  
会 長 石川 忠久

### 実 施 要 項

1. 目 的 : 教養講座 漢字・漢文および日本と中国の文化全般についての理解を深めることを目的とする。  
教育講座 主に中・高等学校の漢字・漢文教材を扱い、明日の授業を豊かに展開する力を培うことを目的とする。
2. 期 間 : 教養講座 平成 22 年 7 月 28 日（水）～7 月 30 日（金）  
教育講座 平成 22 年 8 月 18 日（水）～8 月 20 日（金）

3. 会 場 : 湯島聖堂斯文会館

湯島聖堂案内図

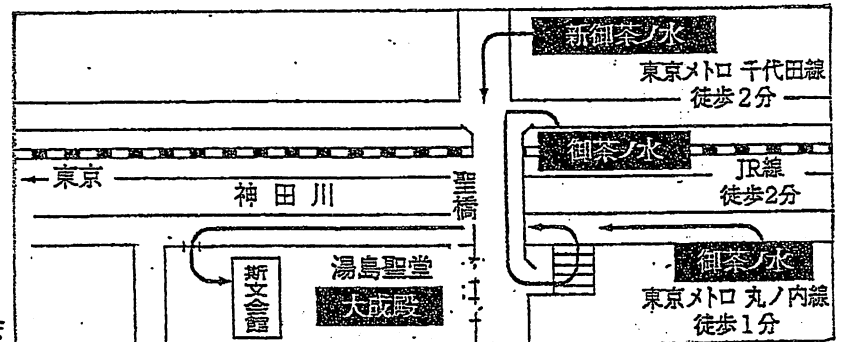
4. 各講座の

参加費: 会 員 3,000 円  
非会員 5,000 円

\*漢字文化振興会から補助を受け、各講座につき上記の受講料となっております。

5. 定 員 : 両講座とも 75 名

6. 主 催 : 全国漢文教育学会



7. 後 援 : 文部科学省・漢字文化振興会・全国高等学校国語教育研究連合会

8. 申込締切: 5 月 15 日（土）

今年度から教育講座は会員を優先して受け付けます（会員 50 名、非会員 25 名とします）。教養講座は例年通り申し込み順に受け付けます。定員になり次第締め切りますので、申し込みはお早めをお願いします（例年 5 月初めごろには定員になり、締め切っております）。

9. 申込方法: ① 申込用紙に記入の上、封書で申し込む。

② 事務局が定員まで受理し、払い込み案内を発送。

③ 案内に従って郵便振込みでお支払いください。

10. 申込先: 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-4-25 湯島聖堂内

全国漢文教育学会 漢文教育研修会係

問い合わせは、FAX. 03-3251-4853 でお願います。

なお係りの者が常駐しているわけではございませんので、返信に多少時間がかかることをご了承ください（定員を超えて受理できない場合は、こちらから連絡します）。

【教養講座日程】

		第1日 7月28日(水)	第2日 7月29日(木)	第3日 7月30日(金)
一 限	10:00 ～ 12:00	「明治の漢詩」 石川忠久 (元二松學舎大学学長)	「漢籍」 —書籍の移動について— 山口謠司 (大東文化大学)	「論語義疏を読む」 高橋 均 (東京外国語大学名誉教授)
二 限	13:30 ～ 15:30	「屈原と陶淵明のあいだ」 辞賦文学と賢人失志の系譜 谷口 洋 (奈良女子大学)	「諸子百家の思想」 —新出土文献から考える— 湯浅邦弘 (大阪大学)	「明清の散文」 大木 康 (東京大学)
		受付 9:30～ 開講式 9:50～		閉講式 15:40～

【教育講座日程】

		第1日 8月18日(水)	第2日 8月19日(木)	第3日 8月20日(金)
一 限	10:00 ～ 12:00	「漢文入門」 録田 勲 (元二松學舎大学附属高校)	「中国文学と風景」 山口直樹 (写真家)	「入試漢文の教え方」 行木康夫 (予備校講師)
二 限	13:30 ～ 15:30	「諸子百家」 渡辺雅之 (筑波大学附属高校)	教材研究 大地武雄(二松學舎大学) 塚田勝郎(筑波大学附属高校)	「漢字の学習法」 緑川佑介 (元二松學舎大学)
		受付 9:30～ 開講式 9:50～		閉講式 15:40～

第26回漢文教育研修会の申込用紙

\*下記の該当する(カッコ)内にそれぞれ○を付けてください。

会員・非会員の別( )会 員( )非会員

参加希望講座 ( ) 教養講座 7月28日(水)～7月30日(金)  
( ) 教育講座 8月18日(水)～8月20日(金)

フリガナ

氏名:

勤務先:

TEL

自宅住所:〒

TEL